



中島由香さん 冬馬くん (比曾)

さわやかな秋空の下、子育て支援センターすくすくでしゃぼん玉遊びを楽しむ親子の姿がありました。息子冬馬くんは野菜が大好きな男の子。「きゅうり、レタス、キャベツ、にんじんなど、野菜が大好きでよく食べています。たくさん食べて、たくましく育って欲しいですね」と母・由香さんがわが子の成長を願います。今年の夏には、念願の親子で初めての遊園地デビュー♪親子で楽しい時間を過ごしたそうで「これから大きくなっていくと、親子で楽しめるのがどんどん増えると思うので楽しみです」と満面の笑みを見せてくれました。

つくってたべよう

「味噌のラスク」

パンに味噌!?!
味噌を使ったレシピを
中学生が考えました!

- ・青のり
- ・オリーブオイル

(材料)
・8枚切り食パン
・バター
・にんにく

(作り方)
①食パンを12等分にする。容器にバター、にんにく、オリーブオイルを入れラップをして温める。
②バターが溶けたら、味噌を入れ混ぜる。ハケで食パンにぬって、青のりをふりかける。
③トースターで4、5分焼いたら完成。

村中学校文化祭で紹介された「味噌を使ったレシピ」の中から、松田亜優さん(3年)が考えたレシピを紹介します!

ご支援に感謝

山武市長来村

10/13

震災後、村へ継続的な支援をいただいている千葉県山武市より椎名千収市長が村役場飯野出張所を訪れ、避難先での村民のようすや村の復興状況等について意見交換を行いました。

菅野村長から椎名市長に対し、これまでの支援に対する感謝の言葉と共に、昨年、村と県が共同で作った村産いちごを使用した紅茶「福恋いちご」が手渡されました。

椎名市長からは「村復興のために、今後も協力していきたい」との温かい言葉がありました。



▲感謝の気持ちを込めて、椎名市長へ紅茶「福恋いちご」が手渡されました

除染後線量把握

ホットスポット発見へ

村では、宅地除染後の放射線量について、宅地の空間線量の高低がわかる写真を撮るガンマカメラで全戸の母屋を対象に撮影する事業を委託事業にて実施しています。その撮影の結果報告会を行政区毎に行っており、今後各行政区への報告会を順次開催していく予定です。

また、その撮影結果において、線量が高い箇所については、環境省が行うフォローアップ除染にて対応してもらおうようにしています。



▲村役場出張所で行われた大久保・外内行政区ガンマカメラ報告会のようす

入札結果をお知らせします

入札日 / 10月14日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込み)	請負業者	完成予定
復興拠点復興住宅等エリア基本計画策定業務	7,722,000	国際航業(株) 福島営業所	平成27年12月末
地上デジタル放送再送信事業積算業務	1,144,800	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成27年10月末
飯舘村IRU光ケーブル支障移転工事(県道12号線深谷地区)	7,776,000	東日本電信電話(株)福島法人営業部門	平成28年3月末
平成27年度・28年度防犯カメラシステム設置事業	30,078,000	セコム(株)	平成29年3月末
携帯型放射線測定器校正点検業務	12,355,200	(株)エフコム	平成28年3月末
学校教育施設清掃業務	6,156,000	(株)東武 相双支店	平成28年3月末
防犯カメラシステム設置工事監理業務	1,782,000	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成28年1月末
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事(千葉県山武市)	75,600,000	大内わら工品(株)	平成28年3月末
災委1号 山木線外道路災害査定測量設計業務	28,080,000	(株)福建コンサルタント	平成28年2月末
災委2号 二ツ森線外災害査定測量設計業務	2,700,000	(株)東コンサルタント 相双事業所	平成28年2月末
災委3号 飯樋川災害査定測量設計業務	4,698,000	(株)船橋コンサルタント	平成28年2月末

こころの
ぽけっと

村の還暦には...

先日の9月30日、村の表彰式がとり行われました。以前、この表彰式は4〜5月ごろ行っていました。9年前の合併50年という節目の年に、これから9月30日にしていくことになったのです。

なぜ9月30日にしたかというと、9月30日は村の誕生日だからです。今から59年前の昭和31年9月30日に大館村と飯舘村が合併して飯舘村が誕生しました。

50周年記念事業の際、村の野球場に村民が大勢集まって、お祝い会を盛大に開催したことがまだ脳裏に鮮明に残っています。

その折、「10年後の大切なあなたへ」という10年後に配る手紙を村で預かりますという事業を実施しました。村民の方から預かっている1092通の他、県内外・外国からの手紙も含めると1842通の手紙が今、役場の玄関のポストの中で来年の9月30日を待っているところです。来年の9月30日は、村の60周年。つまり還暦です。人生でいえば働きづくめ働いて、いよいよ定年、第2の人生のスタートといことですが、したがって、村の人生いや人生でなく、村生の第2のスタートということになります。その日を皆さんと心待ちにしたいものです。また、お祝い会もしなければとも思っています。

しかし、今飯舘村は全村避難中です。大切な方へ書いた手紙も村の家庭に届くことは、ない可能性があります。そのような中ですが、一通でも多く、心のもった手紙をあて名の方に届けるようにしなければなりません。さらに切手代、80円から82円への値上がり分を来年度予算にとらなければなりません。配達された方は、思ってもみなかった方から手紙が届いてびっくりということもけっこうあるのではないのでしょうか。何となくドキドキしてきますよね。不安で不慣れた避難生活ですが、そんな心温まる事業が、これから先、待ち受けているということも心にとめられて、元気で避難生活を過ごしていただきたいものです。

平成27年10月8日 飯舘村長 菅野 典雄